

重伝建地区選定記念式典が開催されました

国の重伝建地区への選定を祝う

- ・平成21年6月30日(火)付けで、黒島地区は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。
- ・船主・船員のまちとして栄えた黒島地区の町並みと歴史的な環境が、我が国にとって重要であるとの評価を受け、今回の選定に至りました。
- ・去る8月22日(土)には、多くのご来賓の方々に参加いただき、選定を祝う記念式典と記念講演会が行われました。



選定を祝って行われたくす玉割り

地元有志による黒島天領太鼓、銭太鼓の披露



黒島天領太鼓と銭太鼓の披露

- ・式典では、はじめに梶文秋市長より挨拶をいただきました。
- ・続いて、来賓の玉岡了英様(輪島市議会議長)、宮下正博様、宮地治様(共に石川県議会議員)から祝辞をいただき、川端一人協議会長が謝辞を述べました。
- ・続いて、地元有志により黒島天領太鼓と銭太鼓が披露され、最後にくす玉割りが行われました。

伝建地区に関する問合せは下記まで

輪島市教育委員会文化課 電話：22 - 7666 (担当：宮脇・谷内)

歴史的・文化的価値を活かしたまちづくりへ

全国的にも珍しい「ミツボ囲い」の間取り

- ・ 黒島地区の伝建地区調査を担当された東四柳史明先生（金沢学院大教授）、中森勉先生（金沢工業大准教授）、谷明彦先生（同大教授）から、黒島の価値について調査報告がありました。
- ・ 特に、中庭の三方をお部屋で囲む「ミツボ囲い」の間取りは全国的にも珍しく、貴重であると報告がありました。



伝建調査報告会の様子

全国的に見ても貴重な建築、町並みを後世に



講師の土屋敦夫先生

- ・ 土屋敦夫先生（滋賀県立大学教授）からは、地震で傷ついた地区が伝建地区になることは前代未聞の快挙であり、町並みに対する地元の方々の意識の強さを改めて感じたとの、お話しがありました。
- ・ 今後とも地元の力を結集して、全国的にも稀で貴重な建築、町並みを後世に伝えられるよう、まちづくりを進めて欲しいとの激励をいただきました。

今年度のまちづくり協議会の活動予定

- ・ 平成21年度の協議会の活動として、下記のような項目を予定しています。
 - ・ 金沢工業大学の谷明彦先生と研究室の学生さん達の協力をいただきながら、活動を進めていきます。
- ・ まち歩きマップの作成
 - ・ 黒島伝建地区の地区模型の制作
 - ・ 重伝建選定記念碑の設置
 - ・ 地区内への木製ベンチ等の設置
 - ・ 先進地視察の実施

9月の予定

- ・ 9月4日(金)：国土交通省による復興状況視察とまちづくり協議会との意見交換
- ・ 9月8日(火)：輪島市による地元説明会「今後の修理・修景の進め方について」
- ・ 9月15日(火)：金沢工業大学・谷研究室とまちづくり協議会との意見交換会